

7月14日：売りに押され、VN指数は反落

銀行株を中心に売りが集中し、ベトナム市場は軟調な展開となった。

ホーチミン市場のVN指数は1.36%高の1,279.91ポイントだった。

同指数は前日0.1%高の1,297.54ポイントだった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、234銘柄が下落、138銘柄が上昇した。

出来高は前日とほぼ変わらずだった。

売買高は約5億9,300万株、売買代金は19兆3,000億ドン（8億3,440万米ドル）だった。

VN指数は前日小幅に反発したが、本日は銀行株への売りが増えたため軟調な値動きとなった。

さえない動きとなった銀行株だが、下落した銘柄にはヴィエティンバンク（CTG）、ベトコムバンク（VCB）、ベトナム国際銀行（VIB）、リエンベトポスト銀行（LPB）、軍隊商業銀行（MBB）、マリタイムバンク（MSB）、VPバンク（VPB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、HDバンク（HDB）、テクコムバンク（TCB）が含まれた。

「VN指数は午前の取引中盤から下げ幅を広げた。しかし午後の取引では下げ渋り、最終的に1,280ポイント付近で取引を終えた」（BIDV証券）

「マーケットに流入する投資資金は大幅に減った。その一方で外国人投資家はホーチミン市場で買い越し、ハノイ市場では売り越している」（同証券会社）

「さらに値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回ったが、前日と比べ出来高は増加した。我々の見方では、底値買いの需要が高まるまでVN指数は1,265ポイント付近で推移する可能性がある」（同証券会社）

外国人投資家はホーチミン市場でホアファットグループ1,573億ドン、ビンホームズ1,454億ドン、SSI証券989億ドンを含む合わせて3265億4,000万ドンを買い越した。

ハノイ市場では13億2,000万ドンを売り越した。

セクター別では、全25業種中23業種が下落した。

下落業種には不動産、証券、情報技術、小売、銀行、農業、水産加工、運輸、卸売、保険、ヘルスケア、石油ガス、ゴム製品、建設資材が含まれた。

一方、上昇したのは食品飲料と建設の2業種だった。

VN30指数は2.12%安の1410.30ポイントで引けた。

同指数採用銘柄のうち、22銘柄が下落、6銘柄が上昇した。

ハノイ市場のHNX指数は0.05%安の296.84ポイントだった。

売買高は約8,850万株で、売買代金は1兆9,000億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。